

編 輯 室 よ り

○花の四月も過ぎて、もう到る處目に青葉です。此處しばらくたまた大自然を相手の現場が戀しい時節です。

○

○今月は豫定の通り復興公園の寫眞を蒐めてみました。復興公園は、復興局施工の所謂六大公園のほか東京市が施工した小學校附屬の五十二小公園、その他既設の公園で震災後大改造を施して復舊したものを合せると夥しい數にのぼるので、全部はとてども載せきれません。然も同じような設計のうちにそれぞれの特徴——例へば敷地の狭廣四圍の條件、位階等から来る——があるのです。

本號にはたゞ市内の各方面に涉るようと云ふ意味でこれだけ載せました。

○本號は復興事務局建築課長、同公園掛横山技師、東京市公園課東技手、同學校建築課古茂田技師等の諸氏の御世話でまとまつたものです。此處に深く謝意を表します。

○

○公園の他に、本號には東京地下鐵工事と、鐵道省の兩國お茶の水連絡高架線工事の二つを載せました。何れも帝都に於ける鐵道工事として斯界の視聽を集めてあるものです。

○地下鐵の遠武技師長からは、この外にあの萬世橋下に於ける特殊工事に関する記事も頂いて居りますがこれは來月號に載せる豫定です。

○

○アーク・ワールドの工法を通俗的に圖解された中

川氏原稿は、寫眞や圖が多いため取捨が間に合はず掲載が遅れて申譯ありません。

創刊雜誌紹介

新刊學術雜誌『水』

又出來たかと専門雜誌の多きに驚く人もあるが、此は又頗る眞面目な内容を以て能く統一された技術雜誌である。主宰者たる工學士百瀬泰次郎氏は最近まで臺灣嘉南大洲の大水利工事に従事してゐた人、學理と實地の經驗に富んだ百瀬氏が眞劍な努力を捧げての一種の自己出版であるから、内容記事に少しの無駄もない、水に關する技術者の眞劍なる伴侶として最も有益なものであると思ふ。

本號の内容目次は『初等水理學講座』『水路内に於けるドロップダウンサーフェスカーブとバックウォーターカーブ』『一定の流域より流出する最大流量に就て』『水の粘性と潤面摩擦』『開講内の水流の形狀の開講の形狀』等。

四六判62頁の小冊子で毎月一回發行一冊送料とも金三十二錢、發行所は東京市外駒澤町深澤三四一〇、水工社。

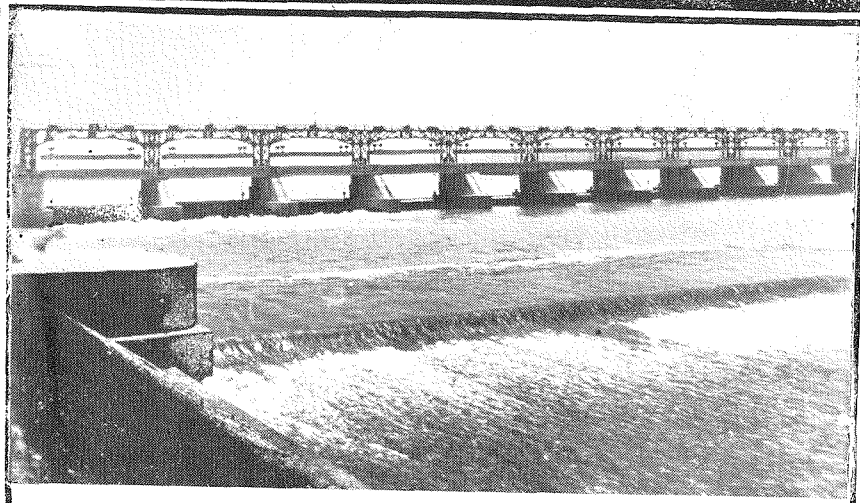
『臺灣の水利』……三月創刊號

臺灣水利協會の發行で會員組織月一回發行の非賣品である。恰度内務省の『水利と土木』と同様な型態を備へた雜誌で、内容も技術と雜録と相半ばしてゐる様である。

土木建築 工事畫報 第七卷 第五號 定價七十錢 (稅二錢)		每月一回一日發行 一年十二冊發行
購 讀 料 壹部 七十錢 稅二錢 參ヶ月 貳圓 稅共 六ヶ月 四圓 同 一年 八圓 同 外國一部 共 七十八錢 稅	昭和六年四月廿六日印刷納本 昭和六年五月一日發行 編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京府北豐島郡長崎町三六二九 印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	大賣捌所 及支局 東京堂・東海堂 大東館・北隆館 廣告部 關西支局 大阪市西區北堀江 通一丁目二五番地 電話新町三四六五
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。		發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話丸ノ内二六三三番 振替東京七〇貳六五番

播

鐵



内務省 信濃川可動堰鋼扉並ニ其構脚橋（弊所製作及架設）

磨

骨

營業種目

- 一、船舶新造修繕
- 一、諸機械汽罐製造販賣
- 一、橋梁、鐵骨建築工事
- 一、油槽水槽瓦斯槽工事
- 一、水壓鐵管送電鐵柱工事
- 一、土木工事



株式 播磨造船所

兵庫縣赤穂郡相生町
電話相生一四・一五・一六・二二

神戸事務所 神戸市仲町三六 興銀ビルディング
電話三宮 三四五〇

東京事務所 東京市・麴町區・丸ノ内東京海上ビルディング
電話丸ノ内 二二七



浚
泥
船

利
砂
採
掘
機

專賣特許



型錄贈呈

三泉工業株式會社

東京市日本橋區通二丁目五番地 (日本興業銀行日本橋支店三階)

電話日本橋(24)3720番

坂替口座東京77116番

鐵防の鑄混・凝土防の水

■特性

乾燥 迅速 皮膜 強靱
 強靱 弾力に富む
 附着力 強大 耐久力 永続的
 防水力 絶對的 使用法 簡易

■抵抗性

酸 アルカリ 水 沼氣
 アムモニア等に對し 強大なる抵抗力を有す

■價格低廉 品質外來品を凌駕す

■應用範圍

(土木工事)

水力發電 護岸改修 堰堤 貯水池 橋梁 高架鐵道 地下鐵道 上下水道

(建築工事)

鐵骨の防錆 基礎 地下室 陸屋根 水槽 淨化槽等の防水 多年諸官廳 各都市 全國諸工場へ納入し 頗る好評を博せり 御要求次第説明書御送付す。

塗料保護

クロナイン

耐酸 耐鹽 耐アルカリ

東京市芝區高輪南五十三番地
 (電話高輪44番七三三)

吉田組

月島機械株式會社

本社

東京市京橋區月島五丁目

電話京橋

二〇三〇番
二〇五〇番
四四四二番

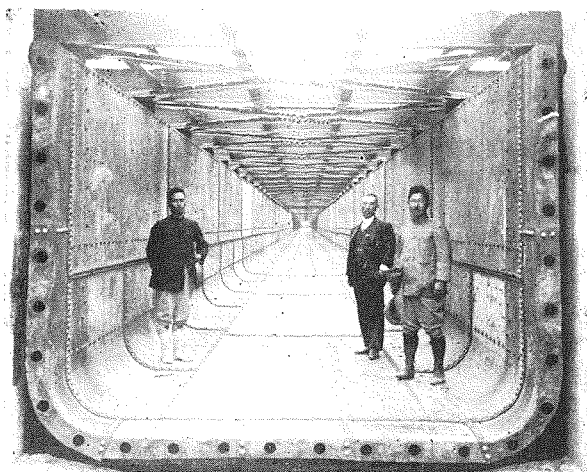
社長 黑板傳作

分工場

東京市京橋區新佃島西町一丁目

電話京橋 三三三九番

常務取締役 宮崎好文



臺灣嘉南大圳組合曾文溪水路橋斷面

水路麵高8尺、幅10尺

製作品目

- 汽機、汽罐、
- 渦卷唧筒
- 甘蔗壓搾機、
- 真空蒸發罐、
- 濾過器遠心分離機
- 真空唧筒、其他
- 製糖用並化學工業
- 用諸機械一式
- 起重機、昇降機、
- 輸送機勞力節減
- 裝置各種
- 砂利採收機、各種
- クラツシヤ、其
- 他土木用機械、發
- 電所用壓力鐵管、
- 水門扉、鐵塔、
- 鐵橋、鐵骨建築一
- 切

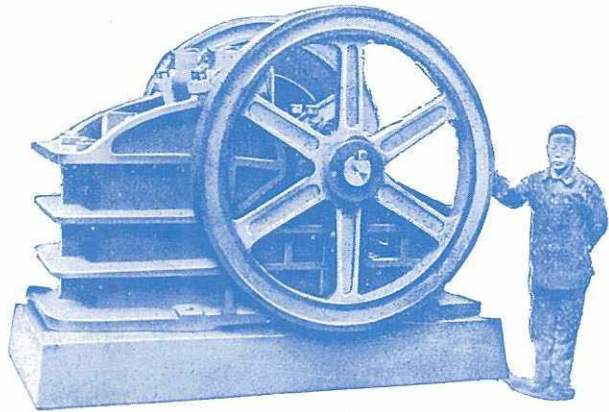
曾文溪橋全景。橋長1,119尺、徑間長120呎九連。



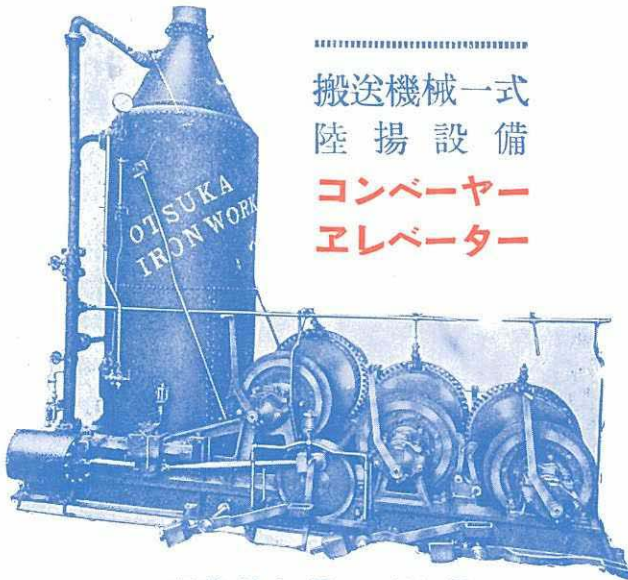
土木建築用 機械一式

特許 **チルド**車輪各種

土木用運搬車各種



ブレーキラツシャー
碎石用トシテ最も適ス



搬送機械一式
陸揚設備
コンベヤー
エレベーター

運搬杭打用 捲揚機

碎石機械各種
砂製造機械
混凝土 **ミクサー**
排水 **ポンプ**各種
コンプレッサー
起重機捲揚機
鐵桁、鐵柱類

株式會社

大塚工場

東京市芝區三田豐岡町六六

電話三田一一六二・一一六三



日立製作所

日立電動浚渫用ジブクレーン



(茨城県三村耕地整理組合納)

容量.....2½噸	捲揚用電動機.....40馬力
揚程基面上.....9呎	旋回用電動機.....5馬力
々基面下.....12呎	臺船ノ大サ.....全長.....45尺
半徑.....18呎	全巾.....19尺
作業回数.....50-60(毎時)	全深.....4.5尺

工場
 日立工場 茨城県助川驛
 亀戸工場 東京市外龜戸驛
 荏戸工場 山口縣下松驛

製品概目
 發電機 變壓器
 電動機 配電盤
 風扇 電氣用品
 電氣計器類 電氣收塵裝置
 起重機 各種剛筒
 水揚機 捲揚機
 送風機 空氣壓縮機
 蒸汽機關車 電氣機關車
 鐵管、橋桁 鐵道用諸機械
 船舶用諸機械 裸銅線
 各種電線 絶緣ワニス類

營業課 本社 内
 大阪所 大阪市内北區中ノ島一ノ四
 電話長一六五〇八〇一四八〇二
 本局四八〇三〇四八〇四八〇五
 九州所 福岡市博多片土居町四二
 電話特長一三七五二七七三
 名古屋所 名古屋市中區新柳町
 六丁目三ノ一
 電話本局四一五五四
 大連所 大連市若狹町三
 電話六三三九
 京所 朝鮮京城南山町二ノ三二
 電話本局二二〇四
 販賣所 札幌市南大通り西一
 電話二丁目四九七

株式會社
日立製作所
 東京市丸之内仲十五號館
 電話(23) 代表 二五九二五九一
 二五九九二五九一
 二五九九六四二
 二五九九七
 二五九九七